



発行／福島県労働組合総連合

〒960-8061 福島市五月町 2-5 一番ビル

TEL:024(522)3097 FAX:024(522)3102

Email:fkсроren@soleil.ocn.ne.jp

URL:<https://fkсроren.org/>

福島県労連

2025年1月15日 Vol. 293(1月号)

2025
春闘

すべての労働者の 大幅賃上げ・底上げを!



～各地で「全国いっせいで宣伝行動」～



<福島> JR福島駅前前で宣伝行動。多くの市民が横断幕に注目していききました。



<二本松> 二本松インターチェンジ付近で宣伝行動。通行する自動車から共感のクラクションも。



<いわき> JRいわき駅前前で宣伝行動。多くの高校生がチラシ入りポケットティッシュを受け取っていききました。



<岩瀬・須賀川> 須賀川市内 3 か所で宣伝を実施しました。

福島県労連と各地方労連は、1月7日、2025年春闘の前進をめざし、「全国いっせいで新春宣伝行動」にとりくみました。
今年の春闘で「中小企業を支援して、すべての労働者の大幅賃上げ・底上げを実現しよう」「労働

基準法の骨抜き、解体を許さず、労働者の命と生活を守る」 「労働組合に加入して『賃金上げて』の声を上げよう」とよびかけました。各地のようすを紹介します(会津若松は1月10日、郡山と白河は1月12日に行動予定です)。

賃上げ、ケア労働者の処遇改善に

県独自の支援を!

県商工労働部長に要請



右から、松本雅昭県商工労働部長、野木茂雄県労連議長、佐藤晃子県労連事務局長、高橋勝行県医労連執行委員長

福島県労連は、昨年12月19日、県庁で、内堀雅雄福島県知事に対し、「労働者・県民のいのちとくらし、地域を守る要望書」(3つの柱、10項目)を提出し、要請しました。「人口減少、少子化」や「人手不足」問題が深刻になる中で、中小企業を支援し「全国一律・時間額1500円以上の最低賃金」制度の実現を国に求めることや、県独自の賃上げ支援策を具体

化する、会計年度任用職員やケア労働者の抜本的な処遇改善などを求めました。

対応した松本雅昭県商工労働部長は「人口流出や少子高齢化は県政の課題であり、その解決のために、向かうところは同じ。いろいろなことでいっしょにやってみなければ」と述べました。

要請の際の出席者の発言を紹介します。

●佐藤晃子県労連事務局長

25歳単身で暮らす若者の最低生計費調査を全国的に実施し、福島県では時間額で1700円必要という結果になりました。これは東京などの大都市圏とほぼ替わらない金額です。家賃が高いので福島よりもかかると思われがちですが、福島では車がないと生活できないので、その購入費や維持管理費などがかることが影響しています。最低賃金審議会でも福島を囲む他県は山形以外どこも福島より最低賃金が高く、人口流出の要因として問題提起もされます。

人口流出に歯止めをかけるため、そして福島職場を選んでもらうためには、中小企業を支援し、全国一律1500円以上の実現が必要で、県知事からも国に要望していただきたい。

●高橋勝行県医労連執行委員長

ケア労働者が安心して働き続けられる状況は県民の安心安全に直結する問題です。一般産業では春闘で4〜5%賃上げされましたが、医労連の調査ではケア労働者は3%程度しか上がっていません。さらに一時金も平均で6万円ダウンしています。また、人員確保という観点で見ると、養成校が定員割れを起し、定数の半分以下という所もあります。民間の斡旋では、労働者の年収の2割から3割の手数料がかかり、紹介された人も長続きしないなどの実態もあります。一部では病棟を全部開けられず一部閉鎖せざるをえないなど深刻な状況です。県独自の支援をお願いします。

賃金上げろ!物価高騰から生活と地域経済、公共を守れ!ケア労働者の賃上げを!

「2・1ローカルビッグアクション(全国いっせい行動)」にみんなで参加しよう!

地方労連名	開始時間	場所	行動内容
福島	11:00	コープmartいづみ店	宣伝署名活動
二本松	11:00	二本松インター入口付近	スタンディング
郡山	17:30	旗開き会場(郡山駅前・姑娘飯店)	最賃動画の視聴
岩瀬須賀川	11:00	ヨークベニマル須賀川西店	スタンディング
白河	11:00	白河駅 NTT ビル前	スタンディング
会津	11:00	神明通り東邦銀行付近	宣伝活動
いわき	14:00	JRいわき駅前	宣伝活動



*詳しくは各地方労連にお問い合わせください。

事故も被害も続いているのに 「原発の最大限活用」は許されない!



「第7次エネルギー基本計画(案)」に抗議し、撤回を求める「ふくしま復興共同センター」の宣伝行動(2024年12月26日、福島市・AXCビル前)

「第7次エネルギー基本計画(案)」は撤回を!

経済産業省は、12月25日に、2040年度を目標とする「第7次エネルギー基本計画(案)」をまとめました。その内容は原発事故から14年を迎える今もなお、被害や避難が続く、苦しんでいる福島県民にとって許すことができない内容です。

「原発依存度低減」を削り、「最大限活用」打ち出す

「エネルギー基本計画(案)」では、原発について、東京電力福島第一原発事故の反省から、掲げ続けてきた「可能な限り原発依存度を低減する」という文言を削りました。そして、原発の「最大限活用」を打ち出しました。その内容は原発の再稼働だけではなく、廃炉にした分を敷地の中、あるいは他の地域にも建て替えることができるようになりました。さらに新しい原発についても「開発・設置に取り組みむ」としています。原発再稼働と新增設を最大限に推進するという計画です。

原発の現状も、県民の実態も無視している

「エネルギー基本計画(案)」は事故を起こした原発の現状、そして原発事故の被害に今もなお苦しんでいる福島県民の実態を無視した計画です。事故を起こした原発の廃炉の見直しはたっていない。溶け落ちた燃料デブリの試験的取り出し作業が

始まりましたが、廃炉の困難さは明らかです。帰還困難区域は7つの市町村に広く残され、避難を続ける県民は福島県の発表だけでも約2万6千人にのぼります。故郷に戻ったみなさんも、病院、買い物、仕事など毎日の生活でのさまざまな苦労が続いています。農林水産業、観光業など生業の再建でも、懸命な努力がすすめられています

が、事故前の水準には戻っていません。このように、原発事故も被害も続いているのに、なぜ、「原発を最大限活用する」などと言えるのでしょうか。

再び、原発事故を起こしてはならない!

原発の「最大限活用」は、日本のどこかで、再び原発事故が起きる可能性を大きくします。このような大きなリスクを抱えた未来を続けて良いのでしょうか。「エネルギー基本計画(案)」は撤回し、ただちに原発ゼロを決定し、火力発電もやめて、再生可能エネルギーに転換することを求めます。

パブリックコメントで 声を届けよう!

経済産業省は「第7次エネルギー基本計画(案)」について、意見を募集しています(パブリックコメント)。ホームページから投稿できます。締め切りは1月26日(日)です。

「原発ゼロ!海洋放出中止!」の声を上げよう!

- 2月12日(水) 海洋放出中止署名提出&政府・東京電力交渉
11:00~11:45 有楽町宣伝行動
13:30~16:00 署名提出&政府・東京電力交渉
- 3月9日(日) 原発ゼロ新宿パレード
場所:代々木2丁目あおい公園
11:00~11:40 集会
11:50~13:00 パレード



お年玉

○×クイズ

正解は○×どっち？

- ① お正月は、必ず「着物」を着なければならない
- ② 「しめ縄」は、神様を迎えるために飾るものである
- ③ 「鏡餅」は、神様にお供えするために飾るものである
- ④ 「初詣」は、お正月に神社やお寺にお参りすることである
- ⑤ 「お年玉」は、必ず袋に入れて渡さなければならない
- ⑥ 「お年玉」は、18才以上の成人は貰うことができない
- ⑦ 「お雑煮」の味は、地域によって違うことがある

年頭の
ごあいさつ

「希望」をひらく一年に!

福島県労連議長 野木茂雄

組合員のみなさん。昨年体験者としての証言ができた。今年もよろしくおねがいます。私には「希望」をひらく一年にしたいと思います。

「希望」をひらく一年にしたいと思います。原発の決断が必要です。原発の「最大限活用」はありえませんが、日本のどこかで、再び原発事故が起きる可能性が小さくなりません。事故を繰り返してはなりません。仲間を増やそう。仲間が増えたら、要求実現がすすみます。

被爆・戦後80年。核兵器禁止条約に参加する日本政府をつくりたい。ノーベル平和賞を受賞した「日本被団協」・被爆者のみなさんへ。力をあわせよう。仲間が増えたら、要求実現がすすみます。

「希望」をひらく一年にしたいと思います。原発の決断が必要です。原発の「最大限活用」はありえませんが、日本のどこかで、再び原発事故が起きる可能性が小さくなりません。事故を繰り返してはなりません。仲間を増やそう。仲間が増えたら、要求実現がすすみます。



応募のしかた

当選者数

正解者10名に

2倍!

図書カード当たります!

応募はハガキ(メールも可)に、①クイズの答え、②氏名(ふりがなも)、③住所、④所属労組名、⑤ひとことを必ず(必要な方はペンネームも)書き添えてご応募ください。締め切りは2月15日です。今回は新春恒例お年玉企画。抽選で10名の方に図書カードをプレゼントします。

291号(11月号)のクイズの答えと当選者

答えは①竹箒上部の節②男性の服の丈③おばあさんの芋④おばあさんの足⑤おじいさんの髭⑥椅子の脚⑦右上の葉っぱでした。応募者は9名で7名が正解。次の5名の方に図書カードを送ります。

- ◇読売巨人軍さん 二本松市職労
- ◇ねこさん 会津地方労連
- ◇だちんさん みやぎ生協労組
- ◇いまこさん 福厚労白河分会
- ◇かめさん 福厚労鹿島分会

福島県労連組織強化拡大学習交流集会

2月15日(土)13:30~16:00

オンラインで開催

働きやすく住みやすい職場・地域をつくるためには共感できる仲間づくりがかけません! この春、たくさんの新入職員を仲間に迎えられよう、みんなの工夫を学び、ヒントが得られる集会を準備します。ぜひご参加ください!

聞いて聞いて
私の思いみんなの願い

☆日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。核なき世界、戦争のない世界の実現のため日本がリーダーシップを発揮してほしいと思います。
(大原労組 しんこさん)

☆今年例年より寒い、光熱費がかさみますね
(みやぎ生協労組 だちんさん)

☆心の整え方勉強したい
(福島県医労連 ナマステさん)

☆どうとう冬が降りました。冬の車の運転が年とともにこわくなりました。
(コープあいづ労組 スマイルさん)

☆大雪こわい
(二本松市職労 絶対安全運転さん)

自動車共済

まずはFAXで見積りを! 割安な共済掛金、補償は充実! 等級別割引・割増の継承ができる!

全労連共済 お申し込み・お問い合わせは各共済会へ

